

日販連通信

第 38 号
2011 年 12 月 12 日 発行

発行者：日本販売農業協同組合連合会
中塚 敏春

住所：〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-5-5
新宿農協会館

電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637

Eメール：info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp

年越し炊き出し支援、連続 2 会場に参加(12 月 10~11 日)

大好評 常盤村養鶏農協がもつ煮 400 食





12月10日に宮城県東松島市矢本運動公園で年末支援の炊き出しを行いました。

矢本運動公園には現在500戸の仮設住宅があります。集会所の空き地には朝早くから住民が待ち構え、予定時刻よりも早く開催されました。

年末を迎えるにあたって、県労連、農民連、民医連など幅広い団体で構成する宮城災対連では、医療、労働、生活などの「何でも相談会」を開催し、住民が「あんたも相談に行かなくてはだめよ」と声をかけ合っていました。また、みやぎ生協の労働組合などが総額100万円を超える日用品、トイレレットペーパー、毛布などの支援物資を配り、「これで年が越せる」、「仮設住宅は床が冷えるので毛布が本当に助かる」と喜んで受け取っていました。

青森県の常盤村養鶏農協と日販連は夏の炊き出しで大好評の巨大「もつ鍋」で、400食を用意しました。「夏のもつ煮の味が忘れられなくて、今度はいつ来てくれるかと待ちました」と煮える30分前に100名以上の長蛇の列ができました。配膳を始めると「家族3人分ください」と鍋持参加者や袋詰めを希望する住民が多数集まりました。2時間半かけて用意したもつ煮はあっという間の25分で終わってしまいました。

常盤村養鶏農協の山内常務はまとめの集会で、「夏に続いてこの地「えさ米」で育てた豚70頭分のもつ煮の炊き出しができてよかった。住民のみなさんの喜んでくれる顔を見て、かえって私たちが励まされました。青森に帰って、これを力に農業を守るためにがんばります。みなさんもがんばってください」と住民と支援者を励ました。

この他山形県の庄内産直センターの「餅入りのきのこ汁」も大好評で、「とてもだしが効いていておいしい」と舌を打っていました。



住民を激励する常盤村養鶏農協の山内常務

東都生協主催「三陸牡鹿表浜 笑顔と元気を届ける」炊き出しに参加

東都生協は12月11日、宮城県漁協・表浜支所の事務所がある石巻市小湊浜地区で7回目の炊き出し交流を実施しました。同地区に位置する取引先の宮城県漁協・表浜支所と㈱マルダイ長沼は、今回の東日本大震災で甚大な被害を受けました。東都生協では、現地からの要望を踏まえ、6月から表浜の被災者に「元気」を届ける交流(炊き出し、支援物資提供)を実施しており、今回は7回目になります。

今回は東都生協役員と、取引先の産直団体、㈱コープミート千葉、(有)匠磋ジーピーセンター、㈱加工連、JAみどりの、日販連から総勢約50人が参加。炊き出し場所は小湊浜地区のコンビニエンスストア駐車場に設置しました。仙台に前泊して朝5時半に出発、強風でテントや机が倒れそうになる中、加工連と日販連は現地で好評の納豆餅、雑煮、おしるこを提供しました。

今回の炊き出しで庭野理事長は組合員から預かった義捐金と東都生協の名前の入った大漁旗を寄贈しました。





東都生協が地元漁協に大漁旗を寄贈



寒風のなか住民約 300 人が長蛇の列



震災時孤立して救助を求めた「出産病院へ HELP」



学校給食の食材をご提案ください

本会では東京都内の学校給食への食材の提供について検討しています。

学校給食は厳しい自治体財政のもとで安い食材が使われがちです。しかし、現場の栄養士が努力して、より安全、安心な食材を提供しようと努力しています。折りしも食育や食農が求められている今日、顔と顔が見える産直品が学校の現場で求められています。

今後、事務局から会員、取引産地に学校給食への食材のご提案をお願いいたしますので、是非ともご協力をお願いいたします。

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス: info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp